うつ病・うつ状態でご入院の(　　)さんへ

入院時に持参して下さい。　　説明日(　　／　　)　説明者氏名(　　)

STA1500100

月日(日時)	／	／	／
経過(病日等)	急性期	回復期	退院準備期
達成目標	◇不安や抑うつ気分が改善し休息をとることができる。 ◇自己の疾患を理解し症状が緩和しセルフケアができる。 ◇喪失を認め専門家の援助を求める意思を表現できる。 ◇心身の安静がとれ自分で日常生活行動がとれる。 ◇食事摂取量が増え、適正な体重が維持できる。 ◇睡眠の質と量が向上する。 ◇自分の思考が整理でき、感情や勤化を混乱・興奮なく表現することができる。	◇病気についての知識を深め再発を防ぐ対処法を知る。 ◇薬物療法の必要性を理解し薬の自己管理ができる ◇抑うつになる原因や誘因を見出しきっかけとなる状況を言動化できる。 ◇不安やストレスに対処できる。 ◇うつの回復過程について正しく理解し、抑うつ気分が再燃しない。 ◇睡眠障害の原因が理解でき、睡眠の量と質の改善行動がとれる。	◇社会復帰の準備ができる。 ◇自分能力に合った将来計画を立て社会資源の支援を受け入れる等できる。 ◇抑うつ症状が軽減し、自分で生活動作が行える ◇自分の肯定的な面を見つけ表現できる。
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置	精神療法、薬物療法を行います。 作業療法があります。(週間スケジュールに沿って) 内服の自己管理を段階的に行います。 コミュニティミーティングがあります。 毎週金曜13時～ 入院時集団療法があります。(COM)毎週月曜14:30～ 入院前のお薬の確認を行います。(入院中は持参したお薬の内服はできません) 眠前薬は、21時以降に内服してください。	心理教育があります。(PEM)毎週水or木13:30～ 睡眠認知療法があります。(CBT-I)毎週火曜9:30～	退院準備があります。(SEM)毎週月曜13:30～ **集団療法について** 入院中は個人の精神療法のほかに、集団精神療法があります。 **COM**:入院中の困りごとについて入院後6週間目までの患者さんを対象に話し合いをします。 **PEM**:ご自分の疾患や治療について理解を深めます。 **SEM**:再発予防のため、自分の注意サインやストレスの対処法について話します。
検査	採血・検尿があります。 レントゲン(胸・腹)があります。 心理検査(バウムテスト)があります。 症状評価尺度(Beck・Hamilton・MADRS)があります。 脳波・心電図があります。	必要に応じて心理検査を行います。	
活動・安静度	症状に応じて医師より指示されます。 毎朝ラジオ体操があります。(毎朝9時～) ベッド周囲の清掃は自己にて行って下さい。 入院中は、お互いの休養環境を保つために、他の患者さんの部屋や同じ部屋の患者さんのベッドのカーテンの中には入らないでください。	生活リズムを整えるために、症状が落ち着いてきたらできるだけ日中の活動に参加しましょう。	
安全	転倒防止のため、履物の確認をさせてもらいます。 ネームバンドの装着をします。 内服・検査時など、氏名の確認をさせてもらいます。 安全のためにベッド柵とナースコールの設置をします。 持ち込みのお荷物を確認させてもらいます。 東7階病棟は、**閉鎖病棟**です。 ・医師の許可にて、同伴外出、単独外出、家族同伴外出ができます。 ・単独外出ができない方は、買い物の代行を依頼できます。(毎日1回、15時頃) ・単独外出は、一回一時間で、8:30～17時または19時まで。 検査・治療のない時間であれば回数制限はありません。	**危険物の取扱・持ち物制限について** ・危険物(刃物・ライター・アルコール類・ワイヤーハンガー)の持ち込みはできません。また、携帯電話など、通信機能・カメラ機能のあるものは、病棟内で使用できません。 ※入院時及びご家族からの差し入れ、外出、外泊時にお持ち込みのお荷物の内容を確認します。 ・病状により、医師より指示された場合は、持ち物の制限をする場合があります。その際、持ち物をナースステーションで預かる場合があります。 ・医師の許可にて、院内外出に出られる場合は、病棟外での携帯電話の使用は可能です。(その際、ナースステーションで預かっている携帯電話を、外出時にお渡しします) ・病棟内に公衆電話を設置しています。利用時テレフォンカードが必要になります。テレフォンカードは、院内のコンビニで購入が可能です。	
食事	症状や年齢にあったお食事を提供します。 ・入院時、飲み込みや口の中の状態の確認をします。 ・食欲がない方は、食べやすい食種や補食の検討をします。	冷蔵庫の使用について 病室に冷蔵庫はありません。病棟内にあるロッカー式の冷蔵庫の利用の場合は、病院本館3階ファミリーマートでご契約ください。 賞味期限の記載にない生もの、封の開いているものの差し入れは衛生管理上お断りしています。	
清潔	治療上制限が必要な場合は、医師より指示されます。	・浴場は大風呂で、毎日午後より男女入れ替えで利用できます。 (詳しい時間は入院のしおりをご覧ください) ・お手伝いが必要な方は、月・木の午前中介護入浴、その他の日は清拭を行います。	
排泄	排泄の状況を、睡眠日誌に記録していただきます。 必要な場合は、医師に指示にて便秘に対する処置を行います(緩下剤の内服など)		
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	治療についての説明は医師より事前に行います。 看護師が入院生活について入院のしおりに沿ってご案内します。 入院時の行動制限についてご説明します。 危険物の持ち込みは出来ません。 携帯電話など通信機能・カメラ機能のあるものは、病棟内で使用出来ません。 病棟内での面会は、中学生以上の3親等以内の方のみです。 睡眠日誌を入院中記録してもらいます。(眠気・気分・食事量・便尿回数など) 精神保健福祉士をはじめ病棟のスタッフが、退院後の生活についての相談を受けます。 必要時、入院前の支援者の方たちと、支援者会議を行います。 ご不明な点があれば、主治医・または看護師にお尋ねください。 介助が必要な場合はお知らせください。	**退院支援について** 東七階病棟には、専任の精神保健福祉士がおります。 入院時より、患者さん・ご家族、必要時支援者の方から、入院前の生活状況や困りごとについて伺い、、医師・看護師と共に、退院後の生活について一緒に考えていきます。 支援者会議の開催、グループホームや作業所、自宅訪問などに同行したり、利用できる社会資源についてなど、ご相談をお受けします。 ご家族がご相談される場合は、事前に電話でのご予約をお願いします。	必要時、退院前訪問を行います。 必要時、退院後の支援者の方たちと支援者会議を行います。 退院後の生活や社会資源の導入について話し合います。 適宜、試験外出・外泊を行います。 【退院時】 ・次回の外来受診の日時をお知らせします。 ・退院後の生活の注意点をお伝えします。 ・退院後もお薬は指示通りお飲みください。 ・お預かりしたお荷物をお返しします。

注1　病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2　入院期間については現時点で予想される期間です。